



## 電機連合神奈川地協 第67回定期大会報告



『定期大会開催にあたって』  
電機連合神奈川地方協議会  
議長 小島 隆洋

本日は神奈川県下各地よりご出席いただきました代議員・傍聴者の皆様、大変お疲れ様です。またご多用の中、組織を代表して電機連合松原書記次長、電機連合福祉共済センター有野理事長、石上前参議院議員ならびに電機各団体の皆様、ご来賓として連合神奈川柏木会長、神奈川県中島副知事をはじめ、行政、政党議員、各地域連合、各産別、労働団体、福祉団体、協力団体の皆様、さらには組織内議員の皆様など多くの方に、ご臨席を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。

それでは、2018年度の大きな取り組みでありました選挙に触れさせていただきますながら、2019年度の地協の活動方針についてお話させていただきます。春の統一地方選挙における横浜・川崎・相模原市議会議員選挙、7月の参議院議員選挙、そして8月の秦野市議会議員選挙と組織内議員の勝利に向け、厳しい選挙情勢の中で、加盟組織の皆様には従来以上の街頭活動や様々な新たな施策にも取り組んでいただきました。ご協力いただきました各単組・支部の役員、組合員の皆様に感謝申し上げます。

一方で、川崎市議会議員選挙、参議院議員選挙については、皆様からいただいた力を、活動の成果を、結果に結びつけることができず

した。神奈川県協を代表する立場として、あらためてお詫びを申し上げます。

さて、これら2018年度の各選挙を通じて感じたことは、話題性や、ワンイシューで議席を獲得できてしまう傾向が顕著になってきているということ。これは、私たち働く者が社会福祉などへの将来不安を感じずに、安心安全に働くことができる環境をどのように実現するのかという観点や、激しい国際競争の中で、日本の産業競争力をどのように向上させるのかという観点など、議員として普通に備えていてほしいと思う資質が、世の中の議員を選ぶ判断基準としては当たり前ではなくなってきたということだと感じています。

したがって、働く者の代表としてはもちろん、総合的に日本の将来を考えられる議員を政治の場に送り出すという労働組合の政治活動は、今後ますます重要になり、組織としてより一層期待されるべき役割になると思っています。

今、「労働組合の存在意義」、言い換えれば、その時々の課題に対し、変化し対応できる組織であるかが、あらためて問われている時代なのだと思います。私たち労働組合は、政治活動以外にも社会の共感を呼ぶ運動はできているのか、集团的労使関係の強化と拡大、雇用の立て直しや社会的セーフティネットの強化はできているのか、社会地域貢献などへの必要性を組合員の皆さんに訴求・理解いただけているのか、労働運動を担う若手役員の育成をどう進めていくのか、など、様々な課題に直面しています。

これらを受けて各加盟組織での活動(縦)・地協での活動(横)を今まで以上に連携させ、組織力を強化し、これらの課題に果敢に取り組み

いくべきだということを、本日の各議案の審議の前に、皆さんと共有したいと思います。

しかし、課題が多くある一方で、電機連合は労働運動の原点である相互扶助を基本とした、スケールメリットを活かした総合的な福祉共済制度を運用しています。このように、労金・こくみん共済coopとも連携しながら、労働運動としての自主福祉活動を強力に進めるなど特徴的な取り組みができる組織です。また、神奈川県協も「障がい福祉活動」など、従来の労働組合の枠にとられない活動ができるポテンシャルを持った組織です。先ほど申し上げたような様々な課題を一気に解決していくことはできませんが、地協としては課題解決へ向けて、「神奈川県協らしさ」をさらに伸ばしていくことを前提に、専門部や委員会の役割などを整理し、2018年度から新たな体制でスタートを切りました。2019年度については、まだまだ、試行錯誤の段階ではありますが、新体制の確立に向け引き続き活動を推進してまいります。

最後に、県下における責任ある産別組織として、その役割と責任を果たすとともに、各加盟組織の力と知恵をあわせ、「組合員の期待と信頼に応える運動」を展開していきたいと思っておりますので、本日の大会の場のみならず、各専門部やブロック会議などの場も通じて、多くの声をお寄せいただければと思います。

結びになりますが、本日も臨席を賜りました全ての組織のご発展と、ご家族を含めた皆様の益々のご健勝、そしてご活躍をご祈念申し上げます。大会の挨拶とさせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。

**大会議事**

1. 開会の辞
2. 資格審査委員選出
3. 資格審査結果発表・大会成立宣言
4. 議長団選出
5. 大会書記任命
6. 議事運営委員選出
7. 地協代表挨拶
8. 来賓挨拶・祝電披露
9. 報告事項確認
  - (1)2018年度一般経過報告
  - (2)2018年度会計決算報告・監査報告
10. 議事
  - 第1号議案 2019年度運動方針に関する件
  - 第2号議案 障がい福祉活動に関する件
  - 答申 組織財政委員会答申
  - 第3号議案 2019年度予算に関する件
  - 第4号議案 その他
11. スローガン確認
12. 各種委員解任
13. 閉会の辞

**組織代表・ご来賓の皆様**



電機連合本部  
松原 書記次長



石上  
前参議院議員



連合神奈川  
柏木 会長



神奈川県  
中島 副知事



横浜市  
山本 経済局  
雇用労働課長



川崎市  
倉 経済労働局  
労政担当課長



国民民主党  
神奈川県連  
雨笠 幹事長

**大会議長団**



左 東芝労組 R & D 支部  
石井 代議員  
右 日本電気労組  
中研・神奈川支部  
美並 代議員



ご来賓の皆様

**地協脱退組合挨拶**



エルナー労働組合  
波間委員長



こくみん共済 coop 廣田 理事長  
中央労働金庫 神奈川県本部 佐藤常務理事  
連合神奈川 林事務局長  
電機神奈川 福祉センター 岡元理事長  
神奈川県 労働委員会 菅谷委員  
電機神奈川 福祉センター 石原理事  
神奈川 シニア連合 小野幹事

**特別常任幹事・特別幹事挨拶**

**障がい福祉委員会  
「ドリンクカンパ」**



大会当日、69,190円のカンパをいただきました。心より御礼申し上げます。

**組織内議員団「いちょう会」挨拶**



森 幹事長 (相模原市議会) 坂本 副会長 (横浜市会) 八尋 幹事 (秦野市議会) 山田 会長 (鎌倉市議会)

**大会の様子**



**電機連合 ファミリーサポート共済**  
〈遺族生活保障〉

もしもの時の“家族の生活費”をバックアップ!

- 死亡・重度障害時に年金方式(分割)でお支払いします。
- 年齢・性別にかかわらずお手頃な一律の掛金です。
- ご家族へ「精神的サポートサービス」もご利用しています。
- 満65歳まで継続可能です。

2017年度 平均支払額 24万円

月々の掛金910円で、月平均約10万円を5年間受け取れます。  
(組合員C05コースの場合・契約総額:約640万円)  
※契約開始後3年(2018年11月1日現在の年齢)を超えてからご加入いただけます  
※契約開始後(予定利率)の変動により支払総額が変動することがあります

お問い合わせは 電機連合 福祉共済センター (ファミリーサポート共済専用ダイヤル) 0120-11-7272